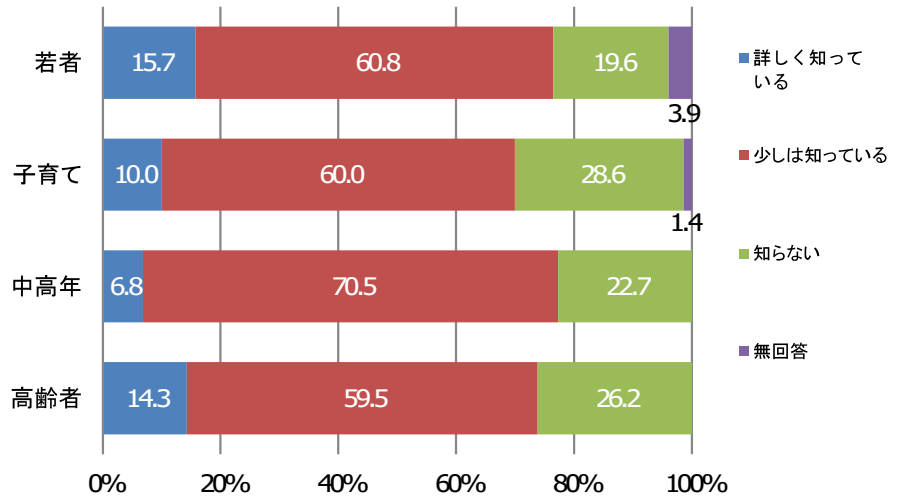
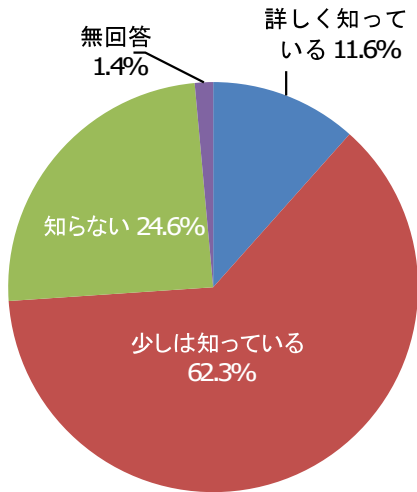


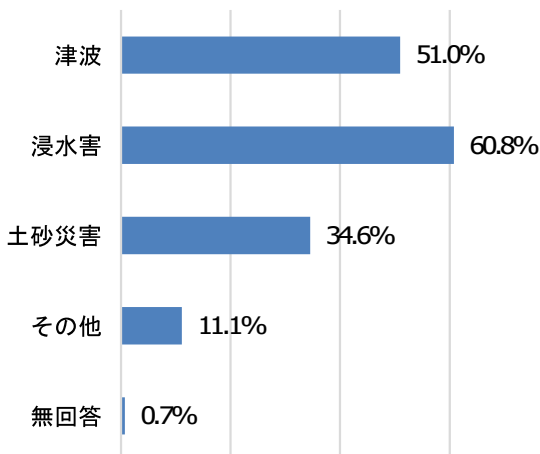
<災害への備えについて>

■問1 住んでいる地域に想定されている災害の危険の認知度 (N=207)



- 住んでいる地域に想定されている災害の危険の認知度については、『多少なりとも知っている』（「詳しく知っている」と「少しは知っている」の合計）が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年の約8割、子育て・高齢者の約7割が『多少なりとも知っている』と回答しています。

■問2 具体的にどのような災害が想定されているか (N=153 複数回答) (問1で「1 詳しく知っている」と「2 少しは知っている」と回答した方)



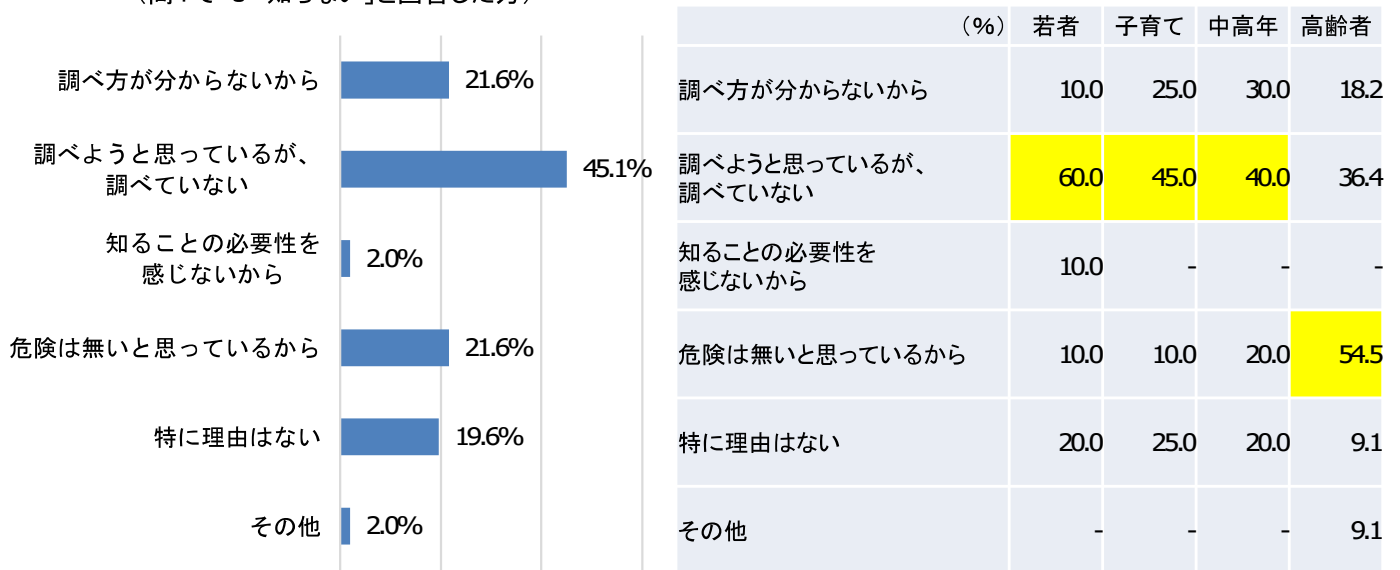
(%)	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
津波	52.8	53.8	64.0	90.0	40.0	29.4	-
浸水害	63.9	73.1	56.0	75.0	33.3	70.6	35.7
土砂災害	30.6	7.7	44.0	5.0	53.3	35.3	100.0
その他	13.9	7.7	8.0	10.0	20.0	17.6	-
無回答	-	3.8	-	-	-	-	-

■その他意見

- ・液状化
- ・地盤沈下
- ・強風

- 具体的にどのような災害が想定されているかについては、「浸水害」が約6割と最も多い回答となっています。
- 居住区別にみると、中区・東区・浜北区では「浸水害」が、西区・南区では「津波」が、北区・天竜区では「土砂災害」が最も多い回答となっています。

■問3 住んでいる地域に想定されている災害の危険を知らない理由 (N=51 複数回答)
 (問1で「3 知らない」と回答した方)



- 住んでいる地域に想定されている災害の危険を知らない理由については、「調べようと思っているが、調べていない」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「調べようと思っているが、調べていない」が、高齢者では「危険は無いと思っているから」が最も多い回答となっています。